

葦中だより

2月 蘭

令和7年2月26日発行

2学期末学校評価アンケートの結果から

2学期末学校評価アンケートへのご回答ありがとうございました。(単位：%)

評価項目 (A～Dの4段階で回答)		生徒			保護者		
		1学期	2学期		1学期	2学期	
① 自ら考え、判断・決定し、行動した	A+B	91.7	94.3	↑	83.9	83.9	
	A	33.1	46.8	↑	24.6	29.5	↑
② 学校が楽しい	A+B	84.6	88.5	↑	92.8	94.6	↑
	A	48.5	52.9	↑	63.2	63.2	
③ 信頼できる友達がいる	A+B	92.3	92.7		91.1	94.2	↑
	A	71.9	71.2		51.8	54.4	↑
④ 仲間と関わり、高め合いながら授業に取り組んでいる	A+B	88.5	88.3		67.8	66.6	↓
	A	44.1	50.8	↑	22.1	21.8	
⑤ 家庭学習の習慣が身についている	A+B	60.0	62.8	↑	51.5	57.1	↑
	A	20.1	23.9	↑	15.4	21.1	↑
⑥ 悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる	A+B	85.5	85.0		80.3	82.0	↑
	A	46.7	45.9		25.7	23.4	↓
⑦ 自ら進んであいさつをすることができる	A+B	84.3	86.9	↑	81.4	84.3	↑
	A	47.9	49.2	↑	32.5	32.2	

①～⑦の多くの項目で1学期に比べA+Bの肯定的評価やA評価の割合が上昇しました。特に、①生徒の「自ら考え、判断・決定し、行動した」については、94.3%と肯定的評価が高く、1学期末課題であった⑦あいさつについても、生徒主体の取組や称揚によって、改善することができました。一方で、⑤家庭学習の習慣については、上昇したもののA評価の割合が低く、⑥相談体制についてもこれからの課題と感じました。

記述アンケート ～「葦中をより良い学校にしていくためのアイデアやご意見」より～

50ほどのアイデアやご意見をいただきました。その主な内訳は、「家庭学習」について約10、制服について約10、教員の生徒への指導について約5、その他が約15、行事予定表の送付や体験活動充実等への感謝についてが約10でした。いただいたご意見を踏まえて、新年度の教育課程を編成していきます。

【主な方向性】

- ◎ 「生徒主体の授業」…主体的な学びや対話を生み出すための授業改善を継続する
- ◎ 「誰もが活躍できる居場所づくり」…生徒が意思決定することを一層重視
- ◎ 「誰もが安心して過ごせる居場所づくり」…生徒自身が安心・安全な学校をつくる
のに何が必要か主体的に考える
- ◎ 地域・家庭との連携・協働…学校外部の専門家との連携、教育資源の活用

第3回学校評議員会及び学校関係者評価委員会

2月7日（金）には、授業参観後、学校評価アンケート結果等も踏まえて、評議員・学校関係者評価委員の皆様、今年度の学校運営の評価と今後の課題について、討議していただきました。

【主な意見】

- ・重点目標や4つの柱については、指標を概ね達成しており、よい取組ができている。
- ・教員のICT活用能力に差が大きくなるように、計画的に研修を進めてほしい。
- ・教員の授業力向上の取組については、保護者も分からない方が多いのではないか。
- ・日頃から子どもの目を大切にする意識の向上を図ってほしい。（スマートフォンやタブレット端末の使用時間が長い生徒の視力低下を懸念）

令和7年度新入生 入学説明会

2月4日（火）に新入生説明会を実施しました。生徒会執行部の生徒が、中学校生活について、スライドを用いて分かりやすく説明を行いました。

4月に、入学してくる皆さんとの出会いを楽しみにしています。



「先輩の話を聞こう」（1年生）

2月5日（水）、1年生は高校に進学した葦中の先輩から高校生活や受験等について話を聞きました。

講師役の高校生は自作の資料を用いて、分かりやすく説明をし、質問にも丁寧に答えてくれました。

本校1年生も高校生活をイメージすることができ、自分自身の進路について考える良い機会となりました。ありがとうございました。



PTA制服リサイクル、図書ボランティア、花の会

2月4日 制服リサイクルの様子



2月20日 読み聞かせの様子



PTAや読み聞かせボランティア、花の会等多くの皆様の活動によって、学校が支えられています。お忙しい中、支援していただき、誠にありがとうございます。